

名張川は、主な支流の宇陀川も含めて、関連する文献を読むと、多くの歴史を刻んだ人々の息吹を感じる。名張川周辺部を度々散策すると生息する動植物と共生して暮らしてきた人々の文化が秘められ、利水における自然との調和と信仰による畏敬の念、加えて、自然の驚異への挑戦と治水におけるダム建設等の近代技術を駆使した自然改造も観察できる。古今東西、文明や文化の発生する地は、必ず河川があり、水と共に生きる人々の姿を映し出す。小冊子が観光や環境のガイドブックに留まらず、琵琶湖を含む淀川水系の醸し出す交響曲を演奏するオーケストラの楽器と位置付けることが出来れば幸いである。おわりに、木津川ダム総合管理所の皆さまに散策の協力を願ったことに感謝します。

(公社)日本水環境学会関西支部川部会/奥野 年秀・和田 安彦



- 伊賀のほんまもん協議会(2010)伊賀撮り歩き。
- . 字治谷猛(1988)日本書紀(下)全現代語訳, 講談社, 373pp.
- . 梅原猛監修(2010) 古寺巡礼 奈良6(室生寺), 淡交社, 142pp.
- ・木下良監修・武部健一著(2010)完全踏査古代の道 畿内・東海道・東山道・北陸道,吉川弘文館,260pp.
- ・国土交通省木津川上流河川事務所(2007) 木津川水系魚類等牛息種リスト。
- ・富岡鉄斎画・清荒神清澄寺・鉄斎美術館編(2004) 富岡鉄斎名作百撰:清荒神コレクション, 便利堂, 161pp.
- . 名張市企画財政部広報対話室(2006)幽玄のふるさと・なばり.
- . 名張市教育委員会(2008)史跡 夏見廃寺.
- . 名張市教育委員会(2010)名張藤堂家邸跡-近世上級武家屋敷-.

- ・名張市上下水道部(2008)名張市の下水道.
- · 名張市商工観光室·名張市観光協会(2011)游歩名張.
- ・奈良市観光課(2010)柳牛の武家屋敷/剣聖の里―柳牛。
- ・福地竜夫(1995)名張と万葉: 古訳・文献・資料集, 万葉歌碑建立委員会, 55pp.
- ・水資源機構(2010)木津川ダム総合管理所概要.
- ・水資源機構(2010)水とともに:水資源機構の防災業務と 名張川上流3ダム総合操作による洪水調節について。
- 本居宣長著・三嶋健男・宮村千素編(1995)菅笠日記, 和泉書院, 156pp.

既刊の紹介

- ・みやびな川 編 『白川』(2010) 『鴨川・明神川』(2012)
- ・歴史とロマンの川 編 『瀬田川・宇治川』(2010) 『保津川・桂川』(2011) 『茶川』(2011)
- ・なにわの川・庶民の川 編『東横堀川・道頓堀川』(2011) 『恩智川・生駒の川』(2012)

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構 〈企画編集〉(公社)日本水環境学会関西支部川部会 (社)近畿建設協会

琵琶湖・淀川 里の川をめぐる

~ちょっと大人の散策ブック~〈歴史とロマンの川編〉

名 張 川 (Nabarigawa)

〔発 行〕平成25年3月

 〔発行者〕財団法人 琵琶湖・淀川水質保全機構 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 (大手前センター ピル4F) TEL、06(6920)3035 FAX、06(6920)3036 <ホームページ> http://www.byq.or.jp/ * 散策ブックはホームページ上で閲覧することができます*

成成ノックはホームペーシェで閲見することができます © BYQ, 2013 Printed in Japan

「飲める水 遊べる水辺 次世代に」

琵琶湖・淀川 里の川をめぐる

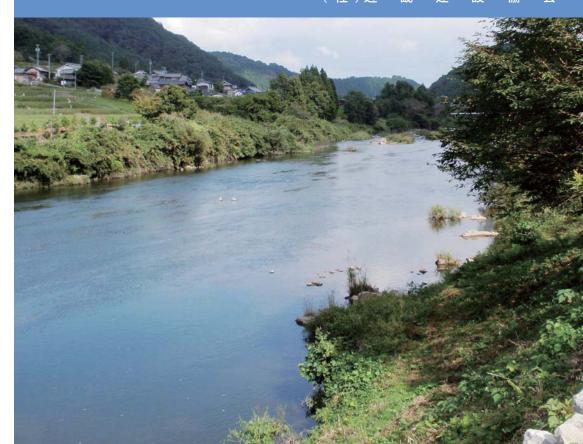
~ちょっと大人の散策ブック~

源流を行く編

名張川

(Nabarigawa)

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構 (公社)日本水環境学会関西支部川部会 (社)近畿建設協会



「琵琶湖・淀川流域散策ブック」のねらい

(財)琵琶湖・淀川水質保全機構、(公社)日本水環境学会関西支部川部会 と(社)近畿建設協会は、大都市圏の川を水質という側面だけではなく総合 的に把握し、その機能を再評価するために川部会が2001年より行ってきた 活動の成果を基礎に、「琵琶湖・淀川流域散策ブック」をまとめることに なった。

この散策ブックは、琵琶湖・淀川流域の河川を散策する時に気軽に携帯 できるガイドブックを意図して作られており、対象河川の概要はもとよ り、流域の見どころ、名水や滝、水質や生物、その川にまつわる興味深い 話などが、豊富な写真や地図を用いて解説されている。

散策ブック全体は、「源流を行く」、「おうみの川」、「みやびな 川」、「歴史とロマンの川」、「なにわの川・庶民の川」の5編で構成さ れ、それぞれ5、6リーフレットからなる。本リーフレットでは、源流を行く編 として、支流の宇陀川上流部に展開する渓谷美の国定公園を有し、梅林の 月ヶ瀬渓谷に至る名張川を取り上げた。

本ブックシリーズが、琵琶湖・淀川流域の河川に親しみを感じ、流域を 散策するための一助になることを願っている。

目次

ねらい・日次

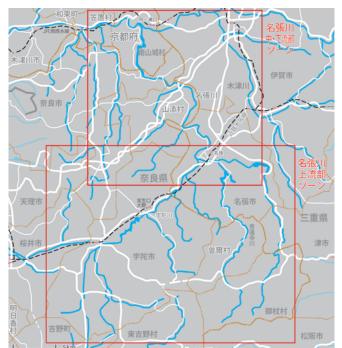
名張川の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	02	2
名張川の上流部(青蓮寺ダム・比奈知ダムと赤目四十八滝)	03	3
コラム1 洪水防止とダム総合調整・・・・・・・・・・ (名張川上流3ダム連携の効果)	05	5
名張川の主な支流部(宇陀川上流域と室生ダム)・・・・・・	06	ô
コラム2 大野寺と磨崖仏 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	08	3
名張川の中流部(名張市中心部の流域と歴史探訪)・・・・・・	. 09	9
コラム3 夏見廃寺に見る万葉の悲劇・・・・・・・	· 12	2
名張川の下流部(月ヶ瀬渓谷と高山ダム)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 13	3
コラム4 名張川と月ヶ瀬渓谷の水質・・・・・・・	. 14	4

名張川の概要

名張川は、伊賀盆地の西端に発展する 風や1959年の伊勢湾台風では、氾濫に 名張市を流れる全長62kmの一級河川で よる橋の流失や家屋浸水等で多くの被 ある。源流は比奈知ダムを擁する上流に 害を被ったため、国土交通省は淀川水 あり、下流の月ヶ瀬渓流を経由して高山 系の水資源機構に属する木津川ダム総 ダムから木津川左岸に流入する。主支流 合管理所による水防・利水等を目的とし は、室生赤目青山国定公園の山岳地帯 たダム統合操作を、府県の協力で実施し を源流とする字陀川であり、青蓮寺ダム ている。 を擁する支流の青蓮寺川を合わせ、名 張川は水量の豊かな河川である。室生 サンショウウオの貴重な生物資源を保護 地帯で約1,500万年前に生じた火山活動 によって告られた多くの渓谷には、安山 岩の垂直の奇形屏風岩が点在する。

れた名張川も台風に起因する豪雨によっ て水害を経験している。1953年の13号台

また、流域に生息するアユ等の魚類や する試みが、名張市の行政施策として行 われ、漁業組合の稚魚放流や農家の葡 萄栽培、史跡・伝統芸能の保存等と共に 豊かな自然環境の森林や渓谷に恵ま 市民文化の息吹を感じる。川流域を歩く ことにより歴史探訪も含めて多くの知見が 得られる。





(表紙写真/名張川中流部)

CONTENTS

名張川の上流部(青蓮寺ダム・比奈知ダムと赤目四十八滝)

名張市を東西に横断する幹線道路(国道165号 線)は、古くは初瀬街道と呼ばれ、奈良県の桜井 市、宇陀市から三重県の名張市、伊賀市、津市、 松阪市へと続く伊勢神宮に参拝する街道であっ た。江戸時代中期の国学者である本居宣長(1730 ~1801)が伊勢の尾鷲から奈良の吉野まで旅行し た旅日記(菅笠日記)に名張郡の風景を描写して いる。「なばり川、わたせ川の合流地点に板橋が 二つ渡してある」と、記載されている。

名張川に沿って、街道を主な支流の宇陀川(わ たせ川)方面に溯ると、赤目四十八滝渓谷で有名 な赤目川(丈六川)と合流する。隣接して日本サン ショウウオセンターがあり、日本最大級のオオサン ショウウオが見られる。約4kmの渓谷は徒歩で散 策できる。滝の数は48滝ではなく赤目五瀑(不動



オオサンショウウオ







千手滝



荷担滝





比奈知ダム



滝·千手滝·布曳滝·荷担滝·琵琶滝)を主とする 20滝である。清流には、コイ科のカワムツやオイ カワ等、一般にはハエまたはハヤと呼ばれる魚類 が観察される。渓谷には、滝の景観や整備された 歩道があり、大気中にフィトンチッド成分(テルペ ン類)が豊かな所で、森林浴を楽しむことができ る。これらは、環境省や県の自然保護にかかる名 水百選に指定されている。この地は奈良時代の 役行者による山岳信仰の修験場であり、赤目の 由来は、役行者が赤目の牛に乗る不動明王に対 面した伝説からと言われている。明治時代以前に は、不動滝より上は原生林であり、立ち入れな かったほどの聖地であった。

名張川本流の比奈知ダムを擁する比奈知湖の 上流は、長瀬・太郎生川と呼ばれ、アユの解禁が 毎年6月初旬であり、40~50cmの大型オオクチバ ス属 (ブラックバス)も釣ることができる。 ブラックバ スは外来種であり、魚食性が強いため、在来種の 減少が懸念され、「特定外来生物による生態系等 に係る被害の防止に関する法律」(2005年施行) の特定外来生物に指定されている。

名張川では3月下旬にニジマスやヤマメト解禁 され、支流の青蓮寺ダムを擁する青蓮寺川では 毎年6月下旬にアユ漁が解禁され釣り客で賑わ う。 青蓮寺ダムと比奈知ダムやダム湖は、治水(洪 水調節等)や利水(飲用水・灌漑用水・発電用水) の役割のみではなく、自然環境の動植物バランス を大きく変動させる。青蓮寺ダムは1970年に完成 したが、比奈知ダムは水没する民家の反対運動 等で計画してから28年後の1998年に完成した。 青蓮寺ダムは、瀬田川と宇治川に跨るアーチ式コ ンクリートダムと同様の最近では珍しい様式のダ ムである。 堤高は82mであり、名張川水系のダム

03 [Nabarigawa]

流域面積100k㎡、総貯水容量2,720万㎡である。洪水調節に450㎡/sの放流、名張地区の農地(125ha)と木津川流域の農地(3,300ha)に灌漑用水を流出、名張市へ0.19㎡/sと阪神地区へ2.3㎡/sの水道用水を供給している。

青蓮寺湖の西側に広がる農地には、灌漑用水によって栽培される果樹園がある。ダム湖から青蓮寺川を約10km遡ると、香落渓と呼ばれる景勝地がある。特に、安山岩質の垂直屏風岩は秋の紅葉と共に川歩きには最も適した景観である。

一方、名張川源流の比奈知ダムは重力 式コンクリートダムであり、堤高70.5m、流 面積75.5km、総貯水容量2,080万㎡であ る。名張市へ0.3㎡/s、京都府へ0.6㎡/s、 奈良市へ0.6㎡/sの水道用水を供給している。なお、青蓮寺ダムと比奈知ダムには 三重県企業庁が管理する発電所があり、 最大2,000kWおよび1,800kWの発電を 行っているが、近々中部電力(株)に譲渡 される。



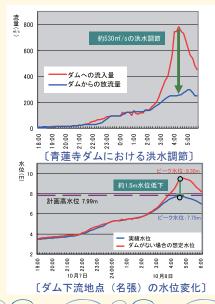
香落渓

コラム 1

洪水防止とダム総合調整 (名張川上流3ダム連携の効果)

2009(平成21)年10月8日未明、台風18 号による大雨で、三重県名張市街地を流れる名張川が氾濫するおそれが発生した。水資源機構木津川ダム総合管理所が総合的に管理する名張川上流の3ダム(青蓮寺ダム、比奈知ダム:三重県、室生ダム:奈良県)で管理規程に基づく通常の洪水調整操作を実施した場合には、名張市街地において氾濫のおそれがあった。名張川の水位、雨の状況及びダムの容量等を勘案した3ダムを連携した操作とすることにより、名張市街地の浸水を回避した。

各ダムが独自に規制放流を行うと下流の名張川の水位は計画高水位(7.99m)を上回り、浸水の発生が生じるため3ダムが連携して雨水を時間経過をみて貯留し、下流の市街地の浸水を防いだ。ダムの連携操作は価値あることを実証した。



3

名張川の主な支流部 (宇陀川上流域と室生ダム)



古風な藁葺きの店「三太夫」



室生寺と太鼓橋



五重塔



室牛寺 余堂

国道165号線の赤目口交差点を過ぎて、宇陀川の上流に向かうと、右岸に伊賀忍術の祖と言われる百地三太夫の生家に似せた古風な藁葺きの店「三太夫」が見える。近鉄大阪線の三本松駅近くの道の駅「宇陀路室生」を過ぎて、右岸の関西電力室生発電所から宇陀川は大きく蛇行する。室生寺口の交差点を県道28号線の方に左折すれば、宇陀川の室生ダムと室生湖に出る。県道28号線を南に約5km遡ると室生寺に到着する。宇陀川の源流は室生湖を遡る奥地であるが、室生寺は宇陀川の支流である室生川に面している。

室生川に架かる朱色の太鼓橋を渡ると女人高野室生寺の石碑があり、右折すると山門に出る。室生寺は真言宗室生派の総本山であり、680年に役行者の草創と伝えられる。続日本記の古文書によると、平城京の興福寺の僧(賢璟)が朝廷の命令で山部親王(後の桓武天皇)の病気快癒のため、寺を建立した。鎧坂を登ると、右に平安時代前期に建てられた金堂(国宝)、左の奥には同時期に建てられた五重塔(国宝)を拝観できる。この塔は、法隆寺の五重塔に次ぐ古さであり、日本で最も小さい五重塔である。

金堂には、中央に本尊の釈迦如来立像(国宝)、左側に文殊菩薩立像(重文)と十一面観音立像(国宝)、右側に薬師如来立像(重文)と地蔵菩薩立像(重文)が並ぶ。いずれの立像も平安時代の一本木造りであるが、本尊の前には、薬師如来を守る十二神将(重文:鎌倉時代)の木造が並ぶ。各神将には、十二支を表す動物が頭部に観察される。また、金堂の左には、弥勒堂(重文、鎌倉時代)があり、弥勒菩薩立像(重文、奈良時代

~平安時代)が安置され、右側に釈迦如来坐像 (国宝、平安時代)が安置されている。本堂の灌 頂堂(国宝、鎌倉時代)には、片膝を付いた珍し い如意輪観音坐像(重文、平安時代)が安置され ている。室生寺の四季は極めて多彩であり、春に シャクナゲ、秋には紅葉と深山幽谷の風情は、伽 藍や仏像の拝観に加えて自然美を満喫できる。

奈良市を中心とする奈良盆地は、昔から水の豊 富な河川がなく水不足に悩まされていたが、1974 年の室生ダム完成により室生湖から利水(灌漑 水・上水)の供給を受けている。ダム型式は重力 式コンクリートダムであり、堤高63.5m、流域面積 136k㎡、総貯水容量約1,700万㎡、国土交通省や 水資源機構による管理ダムでは小型である。洪 水調節のため最大0.3m³/sを木津川に放流する。 ダム湖には、室生川中流の室生寺近辺の島谷水 路(1.5km)を通り室生川の水が導水されている。 奈良盆地約40万人の飲用原水が初瀬水路 (5.5km)を通じて国道165号線沿いの**桜井浄水** 場に供給されている。宇陀川上流部の農地 (378ha)へは最大2.3m³/sの灌漑用水も供給さ れ、室生湖はまさに奈良盆地の水瓶でもある。

なお、室生ダム下流の宇陀川沿いに大野寺が あり、対岸の岸壁に約14mの高さの石仏が彫られ ている。史跡の弥勒磨崖仏である。但し、風雨等 による侵食が激しく弥勒像の輪郭を確認すること は困難である。白鳳時代に役行者が開基したと 伝えられる大野寺には、樹齢300年のシダレザク ラがあり、本尊の弥勒菩薩(秘仏)は拝観できな いが、無実の娘を火あぶり刑から救った身代わり 地蔵と呼ばれる地蔵菩薩立像(重文、鎌倉時代) の参拝者や観光客を楽しませる。なお、紅葉時 期の日暮れには、山門の石段にロウソクを並べ幻





宰牛ダム



室牛湖



大野寺

想的な雰囲気を醸し出している。





大野寺のシダレザクラ

コラム 2

大野寺と磨崖仏

宇陀川沿いの景勝地にある大野寺は宇陀 有名な寺である。春に一度は是非訪れたい 市にある真言宗室生寺派の寺院で、本尊は 寺である。 弥勒菩薩であり、室生寺の西の大門に位置 している。宇陀川岸の自然岩に刻まれた弥勒 磨崖仏(高さ30mの大岩壁に彫られている) は役行者によって草創され、作者は宋から来 日した石工により彫られ、「慈尊院弥勒寺」と 呼ばれた。室生寺は興福寺系の僧により創 建され、大野寺の磨崖仏も興福寺の僧が関 与して後鳥羽上皇臨席のもとで開眼供養が 行われた。

岩盤からの地下水の浸出等で剥落の危 険があり、1999年に保存修理工事が完了 し、苔類の除去や地下水の流路が変えられ た。大野寺は枝垂れ桜の名所として、万葉集 で有名な宇陀にある樹齢300年の又兵衛桜 (後藤又兵衛)とともに大勢の人でにぎわう



[弥勒磨崖仏]

名張川の中流部(名張市中心部の流域と歴史探訪)

名張川や名張市の「名張」と云う地名は 日本書紀(巻第二十八:天武天皇)に記載 されている際の駅家に由来する。白鳳時 代に起こった「壬申の乱」(672年)に挙兵 した大海人皇子(後の天武天皇)は、吉野 川から初瀬川(宇陀川)を経て横川(名張 川)に至った時に「隠駅家」を焼き、続い て「伊賀駅家」を焼いたと記載されてい る。古来、名張の地は奈良の都人が伊勢 神宮に参拝する宿場でもあった。また、東 海道の伊賀路に該当する。

駅家は、飛鳥・奈良時代から平安時代 にかけて、全国の主な幹線道路に設けら れていた。幅10~12mの駅路は全長

6.000kmと、 整くべき長さであり、 南都 (平 城京)や北都(平安京)から先端の防人が 防衛する砦に通じていた。全ての道は ローマに通じる程の距離ではないが、通 信や租庸調の運搬や交通に道路網が整 備されていたのには驚嘆する。伝馬に 乗った役人には、伝符や駅鈴が配布さ れ、15~16㎞の間隔で置かれた駅家を通 過することができ地方の国府に到達する。 駅路に沿う河川も人や荷物の運搬に寄与 した。

万葉集には、持統天皇の伊勢神宮参拝 に随行した夫に思いをはせた妻の歌が 載っている、次の二首に「隠」や「名張」の

地名がある。 『吾背子は 京都府 何処行くらむ 沖津藻の 隠の山を 今日も越ゆられ』 (巻1) 奈良市 『吾背子は いづく行くられ 観音寺• 沖つ藻の 名張の山を 今日も越やらむ』

(巻4)

(注)沖津藻:隠にかかる枕詞、 水中に見え隠れする薬を意味する



積田神社





馬塚古墳





観阿弥ふるさと公園の能舞台

名張市を東西に貫く国道165号線は、前述した ように江戸時代以前から初瀬街道と呼ばれてい た。奈良時代には、東海道に属する伊賀路と呼 ばれ、名張郡の隣の伊賀郡には伊賀国府が、そ の先には伊勢国府が置かれ、10数kmごとに公文 書や情報伝達に使用した伝馬を交換し休ませた 駅家が置かれていたはずである。駅家には、役 人の宿舎や馬舎等の建物もあった。

名張川支流の青蓮川が合流する地点に春日大 社(奈良市)の奥宮の**精田神社**があり、史跡の 「鏡池」が濁れば、猿沢池(奈良市)が濁ると言う 伝説がある。平城京の奈良時代から大和朝廷の 東端は名張川を含む伊賀国(三重県)、西端は 播磨国(兵庫県)、南端は紀ノ川(和歌山県)、北 端は山城国(京都府)および近江国(滋賀県)で あった。

初瀬街道を伊賀市方面に行くと近鉄大阪線の 美旗駅の近くに5~6世紀の古墳群が点在する。 前方後円墳の馬塚古墳(全長142m)(1978年、国 の史跡指定)が最も大きく、垂仁天皇の皇女であ る阿部氏系の吾娥津姫の祭壇が設けられてい た。飛鳥時代の6世紀前期には仏教が伝わり、古 墳文化の衰退に伴って神社(伊勢神宮等)や仏 閣(法隆寺等)の文化が開花したと推測される。こ の時期に伊賀盆地の豪族の子孫が7世紀後期の 大海人皇子の挙兵に関わった可能性がある。

近鉄大阪線の桔梗が丘駅から国道165号線沿 い東方に観阿弥ふるさと公園がある。室町時代 に入る直前の南北朝期に能楽の始祖と呼ばれる 名張郡出身の観阿弥が猿楽の一座を結成した。 後に室町幕府三代将軍の足利義満に「観世の 座」を許され、嫡子の世阿弥と共に能楽として発 展する基礎を築いた。名張市の観阿弥顕彰会で は、毎年11月に「観阿弥創座之地」と刻む<mark>顕彰碑</mark> のあるふるさと公園の能舞台で市民による仕舞や 謡曲や薪能が挙行され、幽玄の境地が醸し出される。近鉄大阪線の名張駅北側には、旅姿の観 阿弥立像がある。名張川岸に宿場町の痕跡が町屋形式の「旧細川邸」(薬商)として残っている。 旧細川家は藤沢薬品(2005年に山之内製薬と合併してアステラス製薬)の創始者(藤沢友吉)の母 方実家である。

また、名張川ではアユ漁が盛んであり、簗漁という漁法で行われていたため、名張宿は俗に「やなせ宿」と言われていた。江戸〜明治時代には、名張八宿と呼ばれて初瀬街道の宿場町として栄えていた。現在、名張川や宇陀川を含む木津川水系には、魚類を含む60種類以上の水生生物が生息し、豊かな自然が残されている。名張市では、「水生生物で知る川の健康」等のテキストを教材にした小中学生の野外研修と環境保護教育が盛んに行われている。

名張駅の西側が旧なばり町であり、造り酒屋の近くに昭和時代を代表する推理作家江戸川乱歩の生誕記念碑がある。また、江戸時代初期の武将であり織田信長、豊臣秀吉、徳川家康に仕えた藤堂高虎(津藩城主:32万石)の養子である藤堂高吉の武家屋敷が旧なばり町に史跡として残っている。名張藤堂家は本家の津藩から1.5万石を賦与されているが、旧邸は明治時代に大きく取り壊され、現在、小、中学校が建っているが、母屋と正門が残され一般公開されている。昭和40年代まで名張藤堂家の子孫が暮らしていた。隣接する寿栄神社にある旧正門(太鼓門)は旗本屋敷に匹敵する堂々とした構えである。

名張市役所南側の名張中央公園に、史跡の夏



観阿弥創座之地顕彰碑



程阿弥立



復元されたやなせ宿



江戸川乱歩生誕記念碑



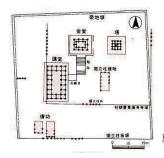
名張藤堂家跡



太鼓門



夏見廃寺展示館



見廃寺跡がある。終戦直後に京都大学考古学教室の発掘した古寺遺跡は、薬師寺(奈良市)の縁起によると、大来皇女が725(神亀2)年に名張郡に昌福寺を建てたと記録されているため、遺跡は昌福寺であり、発掘した金堂の瓦から7世紀末期に造られたと推定され、塔と講堂は8世紀の建立と思われる。史跡入口には展示館があり、発掘物やビデオによる夏見廃寺縁起の歴史的な解説を学ぶことができる。名張川の探索にいにしえの悲哀を感じさせるひと時である。

夏見廃寺伽藍配置

コラム ③ 夏見廃寺に見る万葉の悲劇

夏見廃寺は、薬師寺の縁起によると、大来皇女が725(神亀2)年に名張郡に建てた昌福寺の廃寺と推測されている。大来皇女は、表向きには父の天武天皇を供養するために昌福寺を建立したが、弟の大津皇子を弔うために建てた寺と推測されている。壬申の乱(672年)に勝利した大海人皇子は天武天皇として即位したが、即位する前の飛鳥時代に太田皇女との間に大来皇女と大津皇子をもうけていた。

即位した後に、蘇我氏系の鵜野護良皇女 (後の持統天皇)との間に草壁皇子をもうけた。皇位継承に絡み、太子の草壁皇子への謀 反の疑いで、大津皇子は自害する。冤罪と推 測されている。姉の大来皇女は弟のなきがら を二上山(大阪府と奈良県の境)に埋葬した。 弟を偲んで次の和歌が万葉集に載っている。 夏見廃寺の遺跡に隣接して、写真の歌碑がい にしえを偲んで建っている。

『磯の上に 生うる馬酔木を 手折らめど 見すべき君が ありといわなくに』 (巻二、一六六)



[大来皇女万葉歌碑]

11 [Nabarigawa]

5

名張川下流部 (月ヶ瀬渓谷と高山ダム)

名張川に沿って県道80号線を山添村に入ると、岩屋の瓦窯遺跡や観音寺の十一面観音像(重文)や西方寺跡の阿弥陀如来像(重文)などの歴史的な仏像を見ることができる。側道を月ヶ瀬の五月橋方面に北上すると、大川縄文早期の遺跡もあり、有史以前から縄文人が居住していた跡が残っている。山添村には、木津川に流入する布目川があり、上流に木津川ダム総合管理所が操作する布目ダムがあり、奈良市と京都府(相楽郡南山城村)の県境に建設された高山ダムは月ヶ瀬渓谷にある。

1969年に淀川水系で最初に建設された高山ダム(月ヶ瀬ダム)により、梅林の一部と高山村(南山城村)が水没した。ダムは1959年の伊勢湾台風による名張川の氾濫と水害を契機に防災と利水を目的として建設された。高山ダムは重力式アーチダムであり、堤高67m、ダム湖の総貯水量5,680万㎡である。名張川は高山ダムの直下から木津川の左岸に流入する。高山発電所は出力6,000kWであり、水資源機構が管轄する多目的ダムである。

名張川の最下流部は、月ヶ瀬渓谷とダム湖である。この渓谷は明治時代から梅林で有名であり、毎年2月中旬から3月下旬まで梅まつりが開かれ、近畿圏を中心に多くの花見客で賑わう。紅梅・白梅・黄梅と見事な梅林は、明治から大正にかけての文人であり近代日本画の達人である富岡鉄斎(1837~1924)をも感嘆させた。月ヶ瀬橋の袂に建つ月ヶ瀬梅の資料館の前に、富岡鉄斎が景勝地の保存に尽くし、保勝会の設立を行ったと書かれている。石碑の上部には鉄斎の言葉で「香雪世界」と刻まれている。鉄斎が50歳代に描いた多色



高山ダム



月ヶ瀬渓谷



富岡鉄斎の石碑



月ヶ瀬梅の資料館



尾山代遺跡

絵の山水画「**月瀬図巻**」(3点)には、同じ言葉が画題として書かれている。

ダム湖は南山城村地域(京都府相楽郡)にあり、宇治茶で有名な煎茶の産地である。同じ品種である茶畑でも、山添村で採れたお茶は奈良茶と呼ばれる。茶畑では、新芽を霜から守るため、晩秋から冬に防霜ファンを取り付ける。茶の栽培は300年前からと推定されている。八幡橋の近くに流れ込む滝谷川の上流には、高さ10mの竜王の滝がある。東岸の高台には、大安寺(奈良市)の所有した奈良時代の尾山代遺跡があり、住居跡が発掘されている、遺跡の北側には、茶畑が広がっている。

竜王の滝に隣接している県道4号線を 西へ約3km行くと、布目ダム方面との分か れ道である県道25号線の合流点に出る。 直進して約3km行くと<mark>柳生の里</mark>に着く。

柳生藩には、多くの剣聖が生まれている。現在、旧柳生藩(1万石)の家老屋敷が一般に公開されている。NHKの大河ドラマである「春の坂道」(1971年)の原作者で、軍記・歴史作家である山岡宗八(1907~1978)が所有していたが、現在は、奈良市が管理する。TV等の剣豪ブームが去ると、いささか寂しい山里である。



旧柳生藩家老屋敷

コラム 4 名張川と月ヶ瀬渓谷の水質

名張市は、奈良市や大阪市のベッドタウンとして、住宅造成地が開発され、人口は1980年代から急激に増加した。2012年5月1日現在の人口統計は82,305人である。加えて、生活排水による名張川及び月ヶ瀬渓谷の水質が悪化したが、2008年度に完成した中央浄化センター等による生活排水の



〔 家野橋付近の名張川 〕

排水対策により、河川域のBODや高山ダム湖水のCODが改善されつつある。青蓮寺川香落漁業協同組合では、毎年3月にアユの稚魚を600~700kg(10万~13万匹)を放流して、6月下旬の解禁には体長23~27cmのアユが釣れる。



13 [Nabarigawa] 14